

店

平成13年11月13日

各位

会社名 株式会社 ノジマ
代表者名 代表取締役社長 野島 廣司
(登録銘柄 コード番号 7419)
問い合わせ先 社長室長 武邑 邦弘
TEL 042-753-1422

平成14年3月期中間および通期の業績予想の修正について

平成13年6月5日付当社「平成13年4月期決算短信」にて発表いたしました平成14年3月期(平成13年4月21日から平成14年3月31日)中間及び通期の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 個別業績予想

(1) 中間期(平成13年4月21日から平成13年10月20日まで)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	38,000	300	200
今回修正(B)	38,600	1,000	640
増減額(B-A)	600	700	440
増減率	1.5%		

(2) 通期(平成13年4月21日から平成14年3月31日まで)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	91,000	800	400
今回修正(B)	75,300	100	200
増減額(B-A)	15,700	900	600
増減率	17.2%	112.5%	150.0%

2. 連結業績予想

(1) 中間期(平成13年4月21日から平成13年10月20日まで)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	43,000	100	50
今回修正(B)	43,900	1,120	710
増減額(B-A)	900	1,020	660
増減率	2.0%		

(2) 通期(平成13年4月21日から平成14年3月31日まで)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	103,000	1,200	600
今回修正(B)	85,900	320	360
増減額(B-A)	17,100	1,520	960
増減率	16.6%	126.6%	160.0%

3. 修正理由

(1) 本年5月以降ポイントカード還元率引き上げの実験を行いましたが、中間期売上高は、ほぼ予想通りの結果となる見込みであります。

ただし、通期業績については全世界的IT不況および通信業界不況の影響による消費の落ち込み、Windows XP導入が期待はずれの恐れがあり、予想を上回るパソコンマーケットの冷込みが続いていることに加えて、決算期変更(4月20日から3月末に変更)に伴う決算期間短縮による落ち込みもあり、上記の通り修正いたします。

(2) 中間期利益については、上記ポイントカード還元率引き上げに伴う初年度の販促費増加があり粗利益率の上昇によりそれを吸収することを目指しましたが、結果的にはそれが部分的に留まり、一方では全般的経費削減効果の顕現が下半期にずれ込むこともあり、赤字幅が前回予想比拡大する見通しであります。

下半期については、上半期のポイントカードの検証を踏まえた戦略的ポイントカード施策と粗利益アップに取り組むとともに、経費削減策の効果並びに人事及び営業体制の革新効果が現れることから収益力に相当程度の回復が見込まれます。

ただ、通期としては上半期分の赤字の影響もあり上記の通り修正いたします。

(3) 連結業績についても、当社個別業績の影響とEコマース事業の伸び悩みおよび通信関連事業の競争激化による収益悪化や決算期間短縮の関係から、売上高、利益共に当初予想を下回る見込みであり、上記の通り修正いたします。

4. ご参考 前期(平成12年4月21日から平成13年4月20日まで)の実績
(単位:百万円)

(1) 個別業績

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期	42,039	1,400	706
通 期	87,511	2,507	1,307

(2) 連結業績

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期	47,027	1,541	712
通 期	97,159	2,791	1,424

以上